



2024年9月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月5日

上場会社名 株式会社デコルテ・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7372 URL <https://www.decolite.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 賢二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部ゼネラル・マネージャー (氏名) 新 敬史 TEL 078(954)5820
 定時株主総会開催予定日 2024年12月19日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の連結業績 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	5,589	△4.5	219	△75.4	123	△83.8	106	△78.4	106	△78.4	106	△78.4
2023年9月期	5,854	10.0	891	△35.3	763	△39.6	492	△51.7	492	△51.7	492	△51.7

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	20.79	-	2.2	0.9	3.9
2023年9月期	96.51	-	10.9	5.8	15.2

(注) 希薄化後1株当たり当期利益について、2023年9月期においては新株予約権の残高がありますが、希薄化効果を有している潜在株式が存在しておらず、2024年9月期においては新株予約権は存在するものの、権利確定条件未達により当連結会計年度にすべて失効していることから、希薄化効果の計算対象外となるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	12,778	4,831	4,831	37.8	945.91
2023年9月期	13,653	4,763	4,763	34.9	934.33

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	715	△212	△1,089	222
2023年9月期	1,236	△732	△1,045	808

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年9月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年9月期の連結業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,991	7.2	279	27.3	173	39.8	119	12.2	119	12.2	23.32

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年9月期	5,670,000株	2023年9月期	5,670,000株
2024年9月期	562,039株	2023年9月期	571,939株
2024年9月期	5,104,986株	2023年9月期	5,098,061株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	529	△12.1	50	△21.3	164	62.3	170	85.5
2023年9月期	602	△14.3	63	△54.9	101	5.9	92	△82.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期	33.47	—
2023年9月期	18.07	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2023年9月期においては新株予約権の残高がありますが、希薄化効果を有している潜在株式が存在しておらず、2024年9月期においては新株予約権は存在するものの、権利確定条件未達により当連結会計年度にすべて失効していることから、希薄化効果の計算対象外となるため記載しておりません。
2. 売上高については、前事業年度に比べて、効率的な事業運営に伴い子会社からの経営指導料が減少したことによるものです。
3. 当期純利益については、前事業年度に比べて、子会社からの受取配当金が増加したことによるものです。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2024年9月期	6,117	2,455	2,455	2,280	40.1	480.76	480.76	
2023年9月期	6,277	2,280	2,280	2,280	36.3	447.17	447.17	

(参考) 自己資本 2024年9月期 2,455百万円 2023年9月期 2,279百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 2024年11月5日に当社ウェブサイト(<https://ir.decollte.co.jp/>)に決算説明資料を掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結包括利益計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、景気の足踏み状態が続いたものの、雇用環境の改善や賃金の上昇を受け個人消費が持ち直した結果、緩やかな回復基調に転じました。一方で世界的な資源価格の高騰や、長期的な円安トレンドの継続による物価の上昇など、景気回復を停滞させ得るリスク要因が依然として存在し、先行き不透明な状況が続いています。

ブライダル業界においては、コロナ禍において減少した婚姻組数の回復が見られない中、コロナ禍における「結婚式」に対する価値観の変化の加速とも相まって、引き続き厳しい環境が続いています。

一方で、フォトウェディングは新たな結婚式のスタイルの一つとして注目を集め、特にコロナ禍以降、フォトウェディング市場には規模の大小を問わず新規参入を試みる事業者が増え、一部地域においては低価格でサービスを提供する事業者も現れています。

このような経営環境の下、主力業態であるフォトウェディングサービスにおいては、撮影やヘアメイク、衣装などのサービスの質を高めつつ、フォトウェディングを身近に感じていただけるように、フォトウェディングのリーディングカンパニーとして、認知度の向上や顧客のニーズと環境に合わせた施策を実行し、市場拡大に取り組んでまいりました。

また、アニバーサリーフォトサービスの「HAPISTA」においては、お宮参りや七五三等のイベントだけでなく、お子様を中心に家族でリピートしたくなるHAPPYな体験を得られるフォトサービスを提供してまいりました。現在全国で10店舗展開していますが、今後はブランド力を強化し、顧客層の厚い首都圏での店舗展開を進め、事業拡大を目指してまいります。

当連結会計年度の経営成績は、フォトウェディングサービスにおいて婚姻組数の減少や、小規模事業者を含めた新規参入者の増加等の影響もあり、売上収益は前期を下回りました。費用面では、前連結会計年度に出店した7店舗及び当連結会計年度に出店した3店舗の賃借料や、認知向上・集客のための広告宣伝費の増加、人材の採用促進と給与制度改定（賃金引上げ）に伴う人件費の増加等、前期に比べ増加しました。加えて、事業効率改善のため2025年9月期連結会計年度の実施を決定したウェディングフォトスタジオの移転やアニバーサリーフォトスタジオの一部閉店等に伴う減損損失110百万円を当連結会計年度において計上しました。一方で、行使条件判定期間の終了した新株予約権が失効したことに伴い、株式報酬費用が55百万円減少しました。これらの結果、売上収益は5,589百万円（前期比4.5%減）となり、前期に比べ264百万円減少、営業利益は219百万円（同75.4%減）となり、前期に比べ671百万円減少しました。また、親会社の所有者に帰属する当期利益は106百万円（同78.4%減）となり、前期に比べ385百万円減少しました。

また、当社グループの経営方針・経営戦略等又は経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標としている調整後営業利益は、当連結会計年度において699百万円となり前期比48.7%の減益となりました。

セグメントレベルの概況は以下のとおりです。

<スタジオ事業>

当連結会計年度のセグメント業績は、売上収益5,553百万円（前期比3.7%減）、セグメント利益226百万円（74.6%減）となりました。

・フォトウェディングサービス

撮影件数は前年同期に比べ4.8%減少、撮影単価は前年同期に比べ1.2%下落したことにより、売上収益は前期に比べ251百万円減少し、5,293百万円（前期比4.5%減）となりました。

・アニバーサリーフォトサービス

前連結会計年度に開店した店舗が期初から収益貢献したことに加え、2024年1月に兵庫県西宮市に「HAPISTA阪急西宮ガーデンズ店」、2024年3月に東京都台東区に「HAPISTA浅草店」を新規に出店した結果、売上収益は37百万円増加し、259百万円（前期比16.8%増）となりました。

<その他>

フィットネスジムにおいては、2023年11月末で40minutes芦屋店を閉店したことを受け、売上収益は前期を下回りました。

当連結会計年度のセグメント業績は、売上収益35百万円（前期比58.6%減）、セグメント損失6百万円（前期は0百万円の損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は772百万円となり、前連結会計年度末に比べ503百万円減少しました。これは主に現金及び現金同等物が586百万円減少したことによるものです。非流動資産は12,005百万円となり、前連結会計年度末に比べ372百万円減少しました。これは主に減価償却により使用権資産が342百万円減少したことによるものです。

この結果、資産合計は12,778百万円となり、前連結会計年度末に比べ875百万円減少しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は1,929百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,188百万円減少しました。一方、非流動負債は6,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,244百万円増加しました。これらは主に2020年12月に締結したシンジケートローンの借換を実行したこと等により、流動負債の借入金が1,974百万円減少する一方、非流動負債の借入金が1,551百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は7,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ943百万円減少しました。

(資本)

当連結会計年度末における資本合計は4,831百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が106百万円増加したことによるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は37.8%（前連結会計年度末は34.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は222百万円となり、前連結会計年度末と比べ586百万円の減少となりました。当連結会計年度の各活動におけるキャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前期比520百万円減少し、715百万円の収入となりました。主な要因は、税引前利益が123百万円となり、減価償却費及び償却費868百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、利息の支払額100百万円、法人所得税の支払額290百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは212百万円の支出（前期は732百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出200百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,089百万円の支出（前期は1,045百万円の支出）となりました。主な要因は、シンジケートローンの借換に伴う長期借入金の借入による収入2,334百万円のキャッシュの増加要因があった一方で、シンジケートローンの借換などに伴う長期借入金の返済による支出2,762百万円、賃貸借物件の家賃支払い等によるリース負債の返済による支出660百万円のキャッシュの減少要因がありました。

(4) 今後の見通し

2025年9月期は、円安、資源・原料価格の上昇による消費財の価格上昇等、引き続き先行き不透明な状況にありますが、当社グループは2025年9月期の業績予想を以下のとおりとしています。

(連結)

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
2025年9月期（予想）	5,991	279	173	119
2024年9月期（実績）	5,589	219	123	106

フォトウェディングサービスにおいては、既存店売上高の向上と2024年9月期出店の1店舗の通期での貢献に加えて、1店舗の新規出店を計画、売上収益は327百万円増の5,621百万円（前期比6.2%増）を見込んでいます。

アニバーサリーフォトサービスにおいては、2024年9月期出店の2店舗の通期での貢献に加えて、2店舗の新規出店を計画、売上収益は81百万円増の341百万円（前期比31.4%増）を見込んでいます。

上記を踏まえ、当社グループの2025年9月期の売上収益は5,991百万円、営業利益は279百万円、税引前利益は173百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は119百万円となり、増収増益を見込んでいます。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2019年9月期より国際会計基準（IFRS）を適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	808,510	222,497
営業債権及びその他の債権	292,165	263,677
棚卸資産	93,426	106,609
未収法人所得税	—	87,578
その他の流動資産	81,870	92,257
流動資産合計	1,275,972	772,619
非流動資産		
有形固定資産	1,311,417	1,263,008
使用権資産	4,796,423	4,453,726
のれん	5,635,785	5,635,785
無形資産	16,528	11,926
その他の金融資産	541,809	541,401
繰延税金資産	70,991	95,792
その他の非流動資産	4,737	4,033
非流動資産合計	12,377,692	12,005,673
資産合計	13,653,664	12,778,293

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,448,021	473,096
営業債務及びその他の債務	248,660	200,383
リース負債	591,701	614,829
未払法人所得税	143,938	6,176
引当金	30,147	—
契約負債	393,614	378,279
その他の流動負債	261,770	256,801
流動負債合計	4,117,854	1,929,567
非流動負債		
借入金	472,397	2,024,008
リース負債	4,013,024	3,687,123
引当金	287,140	305,921
非流動負債合計	4,772,562	6,017,053
負債合計	8,890,416	7,946,621
資本		
資本金	155,384	155,384
資本剰余金	2,753,215	2,747,945
利益剰余金	2,411,957	2,518,106
その他の資本の構成要素	42,843	—
自己株式	△600,152	△589,763
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,763,248	4,831,671
資本合計	4,763,248	4,831,671
負債及び資本合計	13,653,664	12,778,293

(2) 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	5,854,000	5,589,551
売上原価	3,519,020	3,747,472
売上総利益	2,334,979	1,842,078
販売費及び一般管理費	1,447,149	1,536,766
その他の収益	5,269	27,694
その他の費用	1,772	113,475
営業利益	891,326	219,532
金融収益	7,787	10,268
金融費用	135,267	105,958
税引前利益	763,847	123,842
法人所得税費用	271,836	17,693
当期利益	492,010	106,148
当期利益の帰属		
親会社の所有者	492,010	106,148
当期利益	492,010	106,148
その他の包括利益	—	—
当期包括利益	492,010	106,148
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	96.51	20.79

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計	
				新株予約権			
2022年10月1日残高	155,384	2,753,165	1,919,947	28,888	△600,152	4,257,232	4,257,232
当期利益	—	—	492,010	—	—	492,010	492,010
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	492,010	—	—	492,010	492,010
新株予約権の失効	—	50	—	△50	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	14,005	—	14,005	14,005
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	50	—	13,955	—	14,005	14,005
2023年9月30日残高	155,384	2,753,215	2,411,957	42,843	△600,152	4,763,248	4,763,248

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計	
				新株予約権			
2023年10月1日残高	155,384	2,753,215	2,411,957	42,843	△600,152	4,763,248	4,763,248
当期利益	—	—	106,148	—	—	106,148	106,148
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
当期包括利益合計	—	—	106,148	—	—	106,148	106,148
新株予約権の失効	—	1,250	—	△1,250	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△41,593	—	△41,593	△41,593
譲渡制限付株式報酬	—	△6,519	—	—	10,388	3,868	3,868
所有者との取引額合計	—	△5,269	—	△42,843	10,388	△37,724	△37,724
2024年9月30日残高	155,384	2,747,945	2,518,106	—	△589,763	4,831,671	4,831,671

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	763,847	123,842
減価償却費及び償却費	826,412	868,426
減損損失	—	110,963
金融収益	△7,787	△10,268
金融費用	135,267	105,958
有形固定資産除却損	1,476	573
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△74,661	25,965
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,395	△13,183
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	49,258	△31,684
契約負債の増減額 (△は減少)	54,338	△15,334
その他の負債の増減額 (△は減少)	△46,179	△5,147
その他-純額	9,890	△53,342
小計	1,700,466	1,106,768
利息及び配当金の受取額	14	54
利息の支払額	△96,927	△100,767
法人所得税の支払額	△367,305	△290,184
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,236,248	715,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△636,508	△200,874
投資の取得による支出	△198,438	△17,298
有形固定資産の売却による収入	—	31
投資の売却及び償還による収入	102,105	5,580
投資活動によるキャッシュ・フロー	△732,841	△212,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の借入による収入	—	2,334,000
長期借入金の返済による支出	△500,369	△2,762,379
リース負債の返済による支出	△542,505	△660,942
その他-純額	△3,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,045,874	△1,089,321
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△542,466	△586,012
現金及び現金同等物の期首残高	1,350,976	808,510
現金及び現金同等物の期末残高	808,510	222,497

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「スタジオ事業」を報告セグメントとしています。

「スタジオ事業」は、フォトウェディングサービスの提供・アニバーサリーフォトの撮影及び写真加工、アルバム等の製作を行っています。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの会計方針は、連結財務諸表作成のために適用した当社グループの会計方針と同一です。

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	スタジオ 事業	計				
売上収益						
外部収益	5,767,290	5,767,290	86,710	5,854,000	—	5,854,000
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—
合計	5,767,290	5,767,290	86,710	5,854,000	—	5,854,000
セグメント利益（△損失）	891,762	891,762	△435	891,326	—	891,326
金融収益	—	—	—	—	—	7,787
金融費用	—	—	—	—	—	135,267
税引前利益	—	—	—	—	—	763,847
減価償却費及び償却費	805,817	805,817	20,595	826,412	—	826,412
減損損失	—	—	—	—	—	—
資本的支出	2,161,415	2,161,415	2	2,161,417	—	2,161,417
報告セグメント資産	13,392,420	13,392,420	68,768	13,461,188	192,476	13,653,664

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

2. セグメント資産の調整額には、主に全社目的のために保有される余剰資産（現金及び現金同等物）等が含まれています。

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	スタジオ 事業	計				
売上収益						
外部収益	5,553,627	5,553,627	35,923	5,589,551	—	5,589,551
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—
合計	5,553,627	5,553,627	35,923	5,589,551	—	5,589,551
セグメント利益 (△損失)	226,265	226,265	△6,733	219,532	—	219,532
金融収益	—	—	—	—	—	10,268
金融費用	—	—	—	—	—	105,958
税引前利益	—	—	—	—	—	123,842
減価償却費及び償却費	857,167	857,167	11,258	868,426	—	868,426
減損損失	110,963	110,963	—	110,963	—	110,963
資本的支出	405,513	405,513	76	405,589	—	405,589
報告セグメント資産	12,683,747	12,683,747	56,351	12,740,099	38,193	12,778,293

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれていません。

2. セグメント資産の調整額には、主に全社目的のために保有される余剰資産（現金及び現金同等物）等が含まれています。

(1株当たり情報)

(1) 基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (千円)	492,010	106,148
加重平均普通株式数 (千株)	5,098	5,104
基本的1株当たり当期利益 (円)	96.51	20.79

(2) 希薄化後1株当たり当期利益

希薄化後1株当たり当期利益は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、基本的1株当たり当期利益と同一です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。